

令和4年6月28日

## 第18回 実験・実習農場公開デー（7月13日）を開催します。

生産者の皆さま、教育機関、農業団体、農業関係機関、本学OB、深川市民の方々との交流を目的に、次の日程で第18回「実験・実習農場公開デー」を実施します。

農学ビジネス学科環境農学コースの学生は、農業後継者が大きなウェイトを占めていますが、農業に興味のある非農家の学生も多くいます。本学では、講義に加えて農場における実験・実習や農家における研修など、実践的な教育に力を注いでおります。

ご多忙のところとは存じますが、是非ご参加いただき、本学の教育活動に対しまして有益なご指導、ご助言をいただければ幸いです。

### 農場公開デー概要

- ★ 日時 令和4年7月13日（水） 13:00～15:00
- 受付 12:30～
- 開会式・圃場案内 13:00～14:45
- 公開講演会 13:15～14:00  
演題： 『ミニトマトの魅力』  
演者： 拓殖大学北海道短期大学 教授 山黒良寛
- 参加料：無料

### <実験・実習の取り組み課題の一部紹介>

- ・播種様式別の直播イネの生育
- ・酒米品種の収量と米粒蛋白質含有率に及ぼす追肥の影響
- ・秋まき小麦の施肥試験、大豆・小豆の栽培試験
- ・イチゴの養液栽培、ペポカボチャ・サツマイモ・ラッカセイ栽培試験
- ・栽培環境がダリア等の日持ちに及ぼす影響
- ・玄米を活用したパン作り、昆虫食の研究

### 開催にあたっての留意事項

- 7月8日までに、申し込みをお願いします。
- 公開講演会は、参加者数を40名とさせていただきます。
- 例年実施しておりました試食は、感染予防の観点から行いません。
- ご来場の際は、検温・手指のアルコール消毒・マスクの着用をお願いいたします。

